

子供のために

# 先生が気づいて動ける チェックリスト

学校生活チェックリスト（中学校・高等学校編）



生徒のことが気になったら使ってみましょう ▶▶▶

このチェックリストは…

- 障害の有無を判断するためや医療機関への受診を促すためのものではありません。
- 教師が実態把握や支援に活用するもので、生徒が自己チェック等のために用いるものではありません。

# 「学校生活チェックリスト」で生徒理解！

対象は、気がかりに思っている生徒、本人自身に困った様子がみられる生徒です。  
担任及びその生徒と関わりのある教員が回答します。

## 〈実施手順〉

### 質問項目をチェック

・○、△、無記入の3段階で回答します。

### 特記事項を記入

・質問項目以外に気がかりな言動や行動がある場合に記入します。

### ○と△の数を記入

### 教育的対応を検討

・○や△が多く付いた領域(A~D)は『支援が必要』と捉えます。

チェックの数が少ない場合でも  
担任が気になるときや  
本人が困っていると思われる場合は  
教育的対応を検討するといよい



### 次の場合も支援が必要と考えられます

- 学校でほとんどしゃべらない
- 無気力又は意欲がないようにみえる
- ささいな注意でも被害的に捉える など

これらは、二次的にみられる行動かもしれません。支援検討チェックリストの「Ⅳ二次的にみられる行動」をチェックしてみましょう

## 本人に必要な支援を始めましょう

支援を始めるにあたっては、本人、保護者の理解を得ることが大切です。

※感覚の過敏性は個人差が大きいため、あせらず本人や保護者と相談して進めましょう

### 支援を考えるときには

特別支援教育指導資料第102集

「特別支援教育学びQ&A(指導事例集)」(平成28年3月発行)が  
参考になります。

学びQ&A



富山県総合教育センターのHPから閲覧・ダウンロードできます。  
<http://center.tym.ed.jp/>



さらに詳しい実態を知りたい場合、個別の教育支援計画等を作成したい場合は…

「支援検討チェックリスト(中学校・高等学校編)」を実施してみましょう

## 学校生活チェックリスト（中学校・高等学校編）

学年・組		氏名		記入者		記入日	
------	--	----	--	-----	--	-----	--

回答欄：よくある…○、ときどきある…△、ない…無記入

		質問項目	回答欄	領域
授業や行事	1	授業中退屈そうにしていたり、寝ていたりする。		A
	2	特定の教科だけ他の教科より試験の点数が明らかに低い。		A
	3	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。		A
	4	黒板の字を写すことに時間がかかる。		A
	5	学習で必要な物や提出書類、提出課題等忘れ物をする。		B
	6	着席していても、手足をそわそわ動かしたり体を絶えず揺すったりする。		B
	7	急な時間割変更があると、嫌がったり対応できなかつたりする。		C
休み時間・部活動・登下校等	8	机上や机の中、かばんの中が乱雑である。		B
	9	日直等係の仕事を最後までやり遂げられない。		B
	10	会話が成立しにくい。		C
	11	仲の良い友達がおらず、一人で行動している。		C
	12	感覚（視覚・聴覚・臭覚・触覚・味覚）が敏感あるいは鈍感である。*注1		C
	13	遅刻や早退、保健室の利用がある。		D
	14	学校や学級のルールを守らない。		D
	15	自信がもてずグループ活動で発言しない。		D
16	自分のやりたいことがみつからない。*注2		D	
特記事項	(例) 不器用である（走り方が不自然、はさみやマウスの使い方がぎこちないなど） 服装の乱れがある など			

	Ⅰ 学習面	Ⅱ 行動面	Ⅲ 社会性	
	A 学習面	B 不注意、多動性・衝動性	C 人との関わり・こだわり・感覚の過敏性	D 自己管理・自己肯定感
△の数	/ 4	/ 4	/ 4	/ 4
○の数	/ 4	/ 4	/ 4	/ 4

\*注1（質問項目 12）について

(例) 雑踏や人の多い場所を嫌がる、肌触りが悪い服を嫌がる、偏食があるなど

\*注2（質問項目 16）について

(例) 余暇の時間にしたいことがない、希望する進路先がない、やりたいことを聞いても「何でもいい」と答えるなど

・自分のやりたいことがあるということは、将来に向けよりよく生きていく上で欠かせないことです。得意・不得意、性格等自己理解を促し、自分に合った進路を選択できるように支援することが大切です。

## 【 指導・支援の例 】「学び Q&A」より

### 「9 日直等係の仕事を最後までやり遂げられない」にチェックが付いたら…

学び Q&A  
P.39



#### ◆ 推測できるつますきの要因

- A 次の活動の見通しをもちにくい
- B 興味・関心のある特定の物（場所等）や人に過度に集中してしまう
- C 時間の感覚が身に付いていない

#### ◆ 指導・支援の例

**Aへの対応** 活動の見通しをもちやすくし、時間を守る規律を徹底する

- ・ 授業開始時刻、終了時刻を守ることを全職員で周知徹底し、授業教室へ向かう際、時刻に遅れそうな生徒に呼びかけを行う など

**Bへの対応** 注意を引く物は見えないようにする

- ・ 過度に注意を引く物は、可能な限り移動ルートから見えないところに置く など

**Cへの対応** 時間の感覚を育てる

- ・ いろいろな活動場面でタイマーなどを活用して、時間を視覚的に捉えられるようにし、残り時間を意識して活動するよう促す など

### 「16 自分のやりたいことがみつからない」にチェックが付いたら…

学び Q&A  
P.54

#### ◆ 推測できるつますきの要因

- A 想像力が弱く、具体的な見通しがもちにくい
- B 自分の得意、不得意への認知が弱く、何に対しても意欲がもてない

#### ◆ 指導・支援の例

**Aへの対応** 具体的なイメージがもてるように情報提供をする

- ・ 時系列で入試や卒業までの流れ、卒業後の姿を具体的にイメージがもてるよう視覚化する など

**Bへの対応** 自分の得意なことや適性について考える機会をつくる

- ・ 好きなこと・得意なことを聞いてどんな職業に向いているかをフローチャートにして一緒に考える など

